

【令和3年度評価委員会 評価委員からのコメント】

評価項目番号①

- ・教育コースについては大学間で目標到達度に差が依然としてある。コロナ下で就学が難しい側面もあるが、積極的にPRし、がん医療の専門家をさらに増やしてほしい。
- ・がん看護コースの人数の増加も期待している。

評価項目番号④

- ・道民への正しいがん情報の提供なども大切と考える。市民公開講座は参加者が多い大学の取組みなどを参考にして取り組んでいただきたい。
- ・市民公開講座の北大の成果は素晴らしい。コンテンツ数が多いことも評価。今後もNHKなどマスコミへの周知を進めて欲しい。

評価項目番号⑤

- ・昨年の評価で市民公開講座やウェブサイトなど道民に対する発信力が弱いという意見があったが、改善された印象である。

評価項目番号⑧

- ・がんの専門知識を有する医療従事養成者の配置状況をマップで示した点は評価できる。

その他

- ・コロナ禍2年目という事もあり、WEB活用でうまく進められたのではないかと思います。
- ・プログラムの進展は順調ですが修了者の札幌偏在が気になります。腫瘍内科の専門医、緩和ケアの専門医が地域にいない現実を実臨床の場で感じています。
- ・コロナ禍にありながら着実な成果をあげていることを確認させていただきました。
- ・コロナ感染が続き、忙しい中で、これだけ多岐にわたるプログラムを遂行されたことは、大きく評価したい。
- ・今後がんプロに期待しております。
- ・最後に質問票に対する4大学のご丁寧な回答に感謝致します。ありがとうございました。
- ・コロナ対策のためWebの活用が進んでいることを評価する。